

長久手市行政評価票

事業番号	114	事業の名称	消防団関係事務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の概要	消防団員としての知識・技術の習得による個人能力の向上を図ることにより、組織の充実強化に繋げ、災害発生時の被害軽減を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町のほとんどが同様の事業を実施している。							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	消防団員・市民			うち		一般財源	3,078	3,392	6,466	6,396	6,389	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	団員の育成及び組織の活性化を図り、地域防災の中核として活動できるようにする。					国費・県費						
						地方債						
					その他							
					受益者負担額							

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				事業規模 事業費
① 消防団員教育訓練 事業	消防団員	[進捗表]				警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術対を習得させ、地域の安全を確保する。	定期訓練、操法訓練、幹部研修会、署・団合同訓練等の実施	年間の訓練実施回数	回	昨年度実績回数を維持する。	1,665	1,843	各種訓練216回実施。延べ2,300人参加。参加人員×2,000円(訓練指導を除く)(訓練のみ、災害出動を除く)	A	現行どおり実施していく。訓練回数が増加し、警防技術の向上に繋がった。	
		216	4,600	維持												
		193	4,600	増加												
② 消防団員防火啓発 事業	市民	[進捗表]				火災予防及び初期消火技術の向上を図り、地域の防災力を強化する	防火点検、防火広報、各種	年間の啓発事業実施回数	回	例年の実施実績の平均的な回数	1,181	1,307	各種事業140回実施。延べ758人参加。参加人員×2,000円(訓練のみ、災害出動を除く)	B	昨年度実績を下回ったので、事業の実施時期、方法等の検討が必要。	
		138	1,516	拡充												
		170	1,500	削減												
③ 消防団員入団促進 事業	市民	[進捗表]				団員が不足している現状を理解してもらうとともに、消防団の役割及び必要性について理解してもらう。	入団促進事業の実施	新入団員数	人	現団員数の10%増加を目指す。	182	201	各種事業のべ140人参加。参加人員×2,000円	B	団員数が昨年の総数より下回った。団員確保に向けた勧誘方法等検討が必要。	
		132	280	拡充												
		153	289	削減												
④ 長久手市消防団応援 事業	市民	[進捗表]				市民に消防団をアピールし、認知度を高めつつ、団員確保に繋げ、結果として消防団の活性化を図る。	登録事業所の数	応援事業所登録数	事業所	長久手市商工会員で市内の事業所数の10%	50	41	平成24年度購入物品を配布することで対応したため、平成25年度決算は0円とする。	A	目標値には届かなかったが、登録事業所数は増加した。	
		35	0	維持												
		50	0	維持												

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	③ 消防団員入団促進事業	団員確保に向け、勧誘の実施場所や方法、時期等も含めて検討する。			